

多度津町立多度津小学校

確かな学力の向上のためには、学習指導の充実とともに、何でも話し合い、意見を言い合える雰囲気のある学習集団づくりが重要だと考えます。人とかかわる力や、友だちと折り合いをつける態度等の「社会性」が育った学級集団を「望ましい集団」と考え、「かかわり」を重視した教育活動の工夫を通して、一人一人の社会性を高める実践を進めています。

実践事例（関連項目：教育活動プラン①-2）

きらきらキッズカードにより、個のよさを伸ばす工夫

目的

子どもに自分自身のよさを自覚させ、自尊感情を高めていきます。

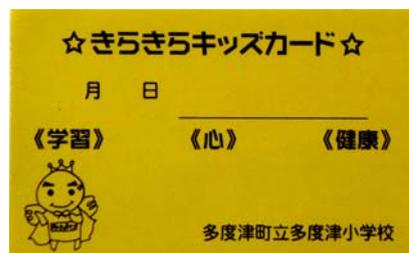
内容

● 児童一人ひとりの努力や伸びを賞賛するためのカードの工夫

賞賛を通して、自尊感情の向上や規範意識の育成を図るとともに、個の支援と学級経営の改善に生かします。

● カードの配布状況を把握し、個の理解と支援に生かす工夫

カードの枚数を観点別に調べることで、子どもの傾向・偏りを把握し、意欲化や不公平感の解消など、個への支援に生かしています。カードを渡すことで終わるのではなく、一人ひとりのよさを学級で共有できるように、日常生活の様々な場をとらえて広げる工夫をしています。



成果

カードを励みに、意欲的に取り組む児童が増えました。教師の意識も、児童の良さを多面的に探すようになり、機会をとらえて児童の言動をほめるようになりました。

実践事例（関連項目：検証改善プラン②-2）

QU 調査を生かした学級経営の工夫

目的

学級内で児童がおかれている状況を判断し、個が活躍する「しかけ」を行い、不登校やいじめを防止するとともに、自尊感情や相手意識を高めていきます。

内容

● QU 調査結果（学級満足群）の分析

現職教育において若年教師が分析結果をポスターセッションで発表し、学級経営の改善について意見交換をするとともに、児童理解とその共有化を図りました。

● 結果分析による学級経営改善の工夫

課題のある児童への指導を重点としながら、ふれあいタイム等での友だちとのかかわりを通して自尊感情を高め、児童が意欲的に活動できるよう取り組んでいます。

成果

調査結果と学習状況・友だち関係・学級活動の様子などをつなげて、個や学級を多面的に見つめることができました。不満足群に属する児童が何に課題をもっているのかを考察したり、経年比較での変化の原因を探ったりして、個に応じた支援を進めることができました。

◆ 本校におけるその他の取組

「ふれあいタイム」や「なかよし集会」等を教育課程に位置づけて、同学年や異学年、幼稚園児とのかかわりを深め、相手意識・自尊感情を高める工夫をしています。

